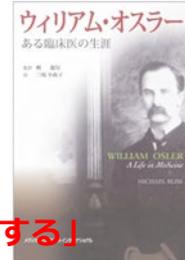


リウマチチーム通信

No. 004
2022. 4. 25
整形外科
茂呂

関節リウマチと上手におつきあいするコツ その1 「まずはリウマチ専門医に相談」



「良き医師は病気を治療し、最良の医師は病気をもつ患者を治療する」

ウィリアム・オスラー (1848-1919)

数々の名言を残した 20 世紀初頭の内科医であるオスラー先生は、その昔、

「関節炎の患者が診察室に入ってきたら後ろのドアから出て行きたくなる」

と述べています。

現代医学の父と言われるオスラー先生ですら逃げ出したくなるほど治療困難であった関節リウマチも、治療薬のめざましい進歩により現在では多くの患者さんが臨床的寛解を達成可能となりました。ところが、そんな時代になってもリウマチ専門外の医師からすると、関節リウマチは「なるべく手を出したくない」疾患なんだそうです。

もし初めての山に登るとき、地図もガイドもなかったら山頂に着くまでに一苦勞ですね。



患者さんは、我々専門医をその道に慣れた優秀なガイドのようなものだと思って利用してください。(たまに道に迷うこともありますが、..)

関節リウマチの治療は、昔の治療法が見直され、考え方が日進月歩で変化しています。専門医は、日々その動向に注目し、最新の情報を集めて治療に応用すべく努力しています。リウマチを疑ったら、診断されたら、将来の関節破壊を予防するため、「なるべく早期にリウマチ専門医を受診する」ことが、関節リウマチ治療成功の鍵となります。